

大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室

研究の名称	体験型実習を通じた嚥下調整食の安全性と嗜好性のトレードオフにおける医学生 の意思決定と嚥下食処方への意識に関する探索的研究
対象	2026 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの期間に、本学の嚥下食実習に参加 した医学生が対象です。本学では 50 例（過去データ）を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：本研究は、皆さまが実習内で記入したアンケート調査および実習評価 記録（食形態の選択、風味の評価、自由記述等）を研究に利用いたし ます。医学生の皆さま自身が実際の嚥下調整食を体験し、嚥下障害患 者さんを想定した長期喫食シミュレーションにおける食形態の選択 （安全性と嗜好性の妥協点）や医療者への要望を解析することで、将 来食事を処方する医学生における臨床栄養学的な食行動の解明およ び、医学教育における「共感型処方」につなげることを目的としてい ます。 利用方法：対象となる期間の実習記録からデータを抽出し、統計的な解析を行い ます。抽出した実習情報は、氏名や学籍番号を削除して別の研究用番 号に置き換える（加工する）ことで、個人を特定できないように厳重

	に対処したうえで取り扱います。研究結果は、国内外の学術誌や学会で発表される予定です。なお、本研究は大学の通常の教育カリキュラム（実習）として一律かつ自動的に記録されるデータを利用するものであり、研究目的のために皆様に新たな検査や追加のアンケート、侵襲行為などを求めることは一切ありません。 利用の開始予定日：研究実施許可日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：なし（血液、組織などの人試料は一切使用しません） 情報：嚥下食実習時に記入されたアンケート回答（食形態の評価・選択理由等、自由記述内容）、および対象者の属性（年齢・性別のみ）
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実（特定の企業からの資金提供等）がない旨をお伝えします。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学 准教授 小金丸 聡子	
参加拒否の申し出について ご自身の実習データを研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。し	

かしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室

担当者 森浦 芳枝

連絡先 072-683-1221（代） 内線 2281

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 小金丸 聡子 殿

研究の名称	体験型実習を通じた嚥下調整食の安全性と嗜好性のトレードオフにおける医学生の意思決定と教育効果の研究
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）